

9 農業支援サービス事業育成対策

【令和4年度予算概算決定額 100 (95) 百万円】

<対策のポイント>

農業現場の課題に対応しつつ、**農業支援サービス事業者の新規参入、既存事業者による新たなサービス事業の育成・普及を加速化**するため、**新規事業の立ち上げ当初のビジネス確立**等を支援します。

<事業目標>

農業支援サービスの利用を希望する農業の担い手の8割以上が実際に利用 [令和7年まで]

<事業の内容>

サービス利用の伸び率を大幅に引き上げるため、新規事業立ち上げ当初の**ニーズ確保や人材育成**に要する以下の取組を支援します（上限1,500万円）。

- ・ビジネス確立のための**ニーズ調査**
- ・デモ実演等に必要な**機械・システムの改修**や**データ収集**
- ・農業支援サービス事業者が行う**人材育成（研修費等）** 等

加えて、農業現場が直面している各課題に対応した以下の**農業支援サービス事業体**へも支援します。

1. 輸出等超低コスト型

海外現地が求める価格ニーズに対応した農産物生産等のため、超低コスト生産に資するサービス事業者を育成

2. みどり戦略型

生産力向上と持続性の両立の実現に資するサービス事業者を育成

3. 高収益作物転換型

主食用米から高収益作物への転換に資するサービス事業者を育成

(関連事業)

強い農業づくり総合支援交付金のうち農業支援サービス事業支援タイプ

12,566 (14,164) 百万円の内数

農業支援サービス事業の新規事業立ち上げに必要な、農業散布用のドローン等、**農業用機械等のリース導入・取得**等を支援します。

<事業イメージ>

課題

- ・農業現場の厳しい人手不足（特にピーク時の臨時雇用）

課題

- ・収量・品質の低下
- ・スマート農機導入コスト



【事業者の育成・普及上の課題例】

- 繁閑が明確なため、同一産地・品目では**通年でニーズ確保が困難**。また、複数産地・品目に対応する場合は**高度な人材の育成**が必要
- 一つの作業失敗が収量・品質に大きな影響を及ぼすため、**農家との信頼関係の構築**に時間や労力を要する

本対策で、
 ・ニーズ調査や**人材育成**
 ・デモ実演に必要な**機械・システムの改修**
 などの**ソフト経費**を支援

<事業の流れ>



海外現地が求める価格帯に応えるなどの超低コスト生産

主食用米から高収益作物へ転換するための環境整備

環境負荷軽減と生産性向上が両立する生産システムの実現

【お問い合わせ先】 農産局技術普及課 (03-6744-2111)